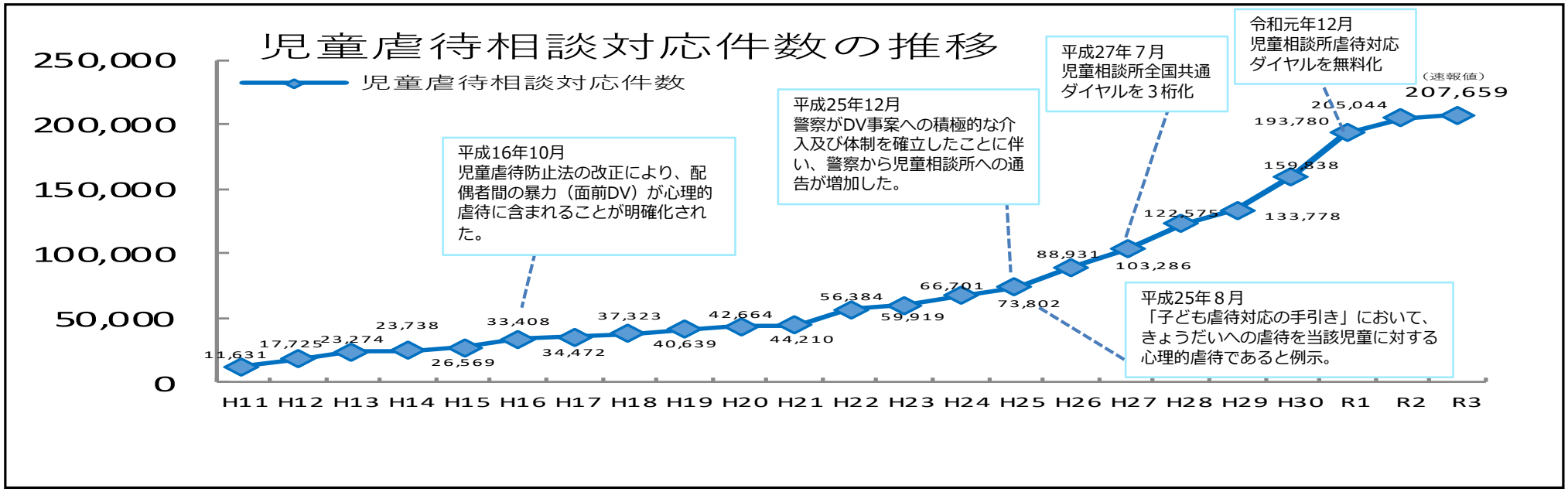
児童虐待相談の対応件数推移及び虐待相談の内容・相談経路

資料3－1

○　令和３年度における児童相談所の児童虐待相談対応件数は、207,659件。平成11年度に比べて約18倍。
○　心理的虐待の割合が最も多く（60.1%）、次いで身体的虐待の割合が多い（23.7%）。
○　相談経路は、警察等（50%）、近隣知人（14%）、家族（7%）、学校等（7%）からの通告が多くなっている。



○　虐待相談の内容別割合

	身体的虐待	ネグレクト	性的虐待	心理的虐待	総　　数
令和３年度 （速報値）	49,238(23.7%) （－797）	31,452(15.1%) （＋22）	2,247(1.1%) （＋２）	124,722(60.1%) (+3,388)	207,659(100.0%) (+2,615)

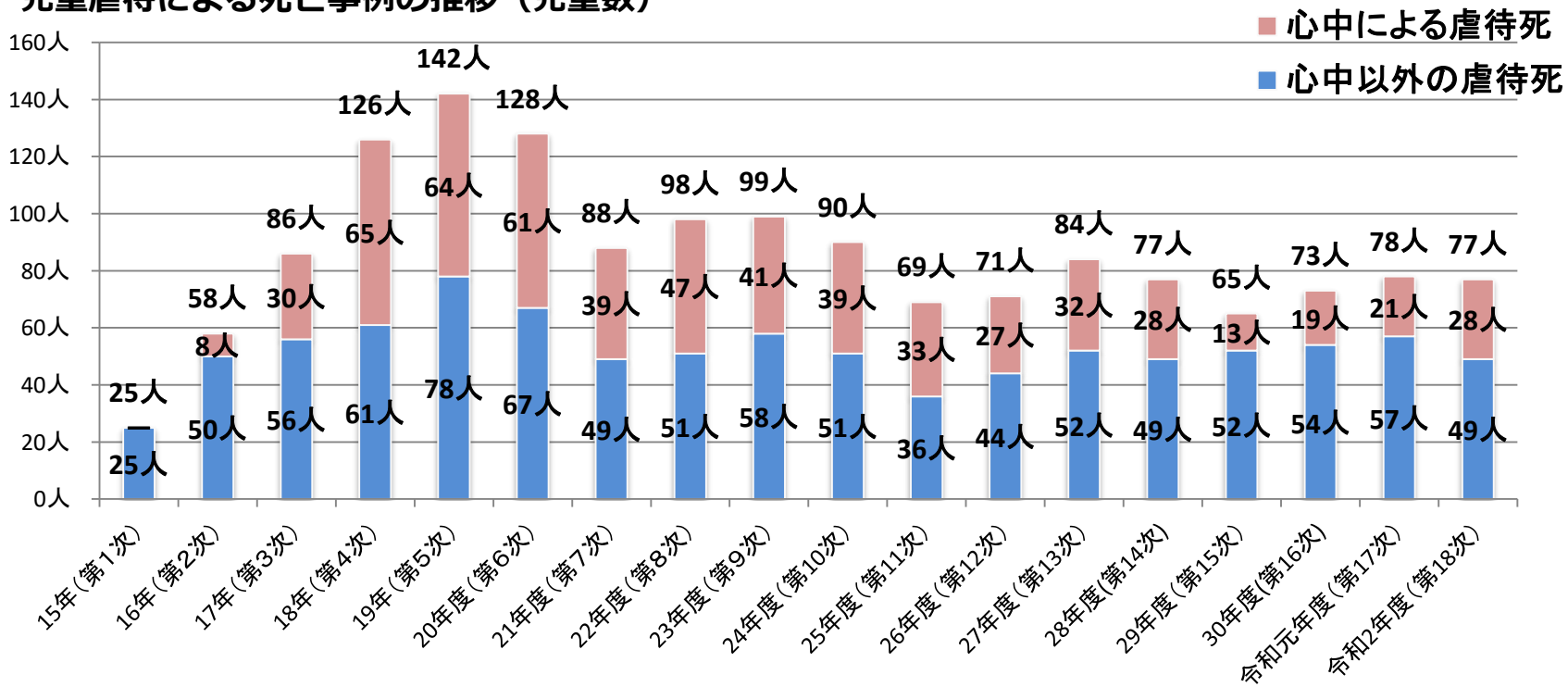
○　虐待相談の相談経路

	家族	親戚	近隣知人	児童本人	福祉事務所	児童委員	保健所	医療機関	児童福祉施設	警察等	学校等	その他	総　　数
３年度 （速報値）	14,697 (7%) (+604)	2,647 （１%） (-25)	28,075 (14%) (+434)	2,529 (1%) （＋414）	9,044 (4%) (+779)	195 (0%) (-15)	226 (0%) (-7)	3,608 (2%) (+181)	2,846 (1%) (-107)	103,104 (50%) (-521)	14,944 （７%） (+268)	25,744 (12%) (+610)	207,659 (100%) （＋2,615）

子ども虐待による死亡事例等の検証結果等について（第18次報告）（概要）

社会保障審議会児童部会児童虐待等要保護事例の検証に関する専門委員会【令和4年9月】

児童虐待による死亡事例の推移（児童数）



（注1）平成15年～平成19年までは暦年。平成20年度以降は年度、（注2） 平成15年はH15.7.1～H15.12.31の6か月間、（注3）平成19年はH19.1.1～H20.3.31の15か月間

第１次から第１８次報告までの児童虐待による死亡事例等の検証結果

【心中以外の虐待死　889例・939人】

○ **０歳児の割合は48.5%、０日児の割合は18.4%**。さらに、３歳児以下の割合は76.1%を占めている。

○ **加害者の割合は実母が54.6%**と最も多い。

○ 妊娠期・周産期における問題では、**予期しない妊娠／計画していない妊娠が27.7%**、**妊婦健康診査未受診の状況が27.2%**と多かった（第3次報告から第18次報告までの累計）。